



高田町キャラクター「たかたん」

高田町内会だより

第 32 号

発行日: 令和3年8月1日
発行者: 高田町内会
会長 宮田 寿雄



高田町内会会長
宮田 寿雄

「無事ですタオル」お届け後は？

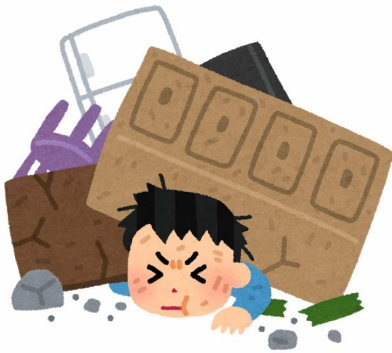
黄色い「無事ですタオル」を全会員にお届けして1ヶ月が過ぎました。タオルは今どこにありますか？ 押入れですか？ 受け取ったままですか？ 今月にご家族で相談して、タオルの保管場所と掲示場所を決めて下さい。保管場所は判り易く、出し易い場所。掲示場所は玄関扉が順当かと思えます。9月1日防災の日に因んで世帯毎にミニ防災訓練をしてみましょう。訓練の大原則として地震発生直後は慌てない。活動は揺れが収まってから。家族の無事が確認出来たら保管場所から「無事ですタオル」を取り出し外から見える場所に掲示して下さい。



ミニ訓練を経験する事により、大地震が起きても慌てず対応出来ます。会員の皆様をお願いするのは基本的には自助ですが、共助の部分も含んでおり会員の皆様のご理解とご協力無くしては出来ません。町内会加入率70%の中で、会員が先頭に立ち、向こう三軒両隣の安否確認をして頂く事で地域の安心・安全が保たれ、結果的には減災につながります。「無事ですタオル」に関する詳細は「高田町内会だより31号・32号」及びタオルの入っているビニール袋(写真)の「使用目的・方法」をご覧ください。

黄色の「無事ですタオル」による安否確認方法について

安全部



近年30年以内に80パーセントを超える確率で横浜市内においても最大震度6弱以上の地震が発生するといわれています。

東日本大震災時、横浜市は震度5強の地域があり、想定されている震度6弱では固定していない家具の大半が移動し、ドアが開かなくなることがあります。地震により家の中で、身動きがとれなくなってしまった住民を早期に把握する為の手段の一つとして「無事ですタオル」を配布させていただきました。

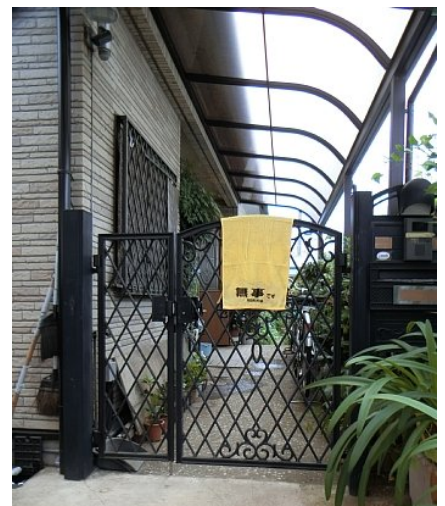
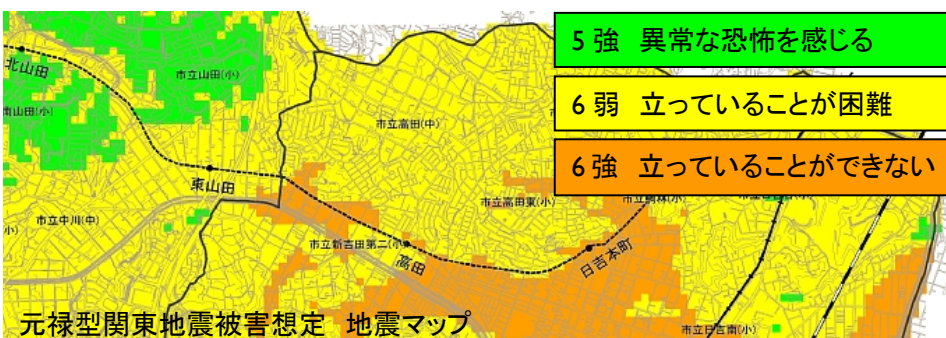
震度5強以上の地震が発生した時、玄関前や道路側から見える場所に「無事ですタオル」をくりつけ「在宅者は無事です」の意思表示をしてください。

「無事ですタオル」の掲示により、ご近所の無事が各家を訪問しなくても確認でき、救助・救援が必要な方を一刻も早く発見することができます。

このタオルの再配布は有りませんので、使い易く紐をつけるなどして、出来れば玄関付近に大切に保管して下さい。

震災規模により、すべての安否確認にどれくらい時間かかるか分かりませんので、タオルは2日間程度はそのままにしておきましょう。

下の地図は横浜市が発行の三つの地震想定震度分布図の一つです。



門扉に無事を知らせるタオル取り付け

高田西公園のアジサイ



高田西公園の上の段

平成29年(2017年)、高田町内会創立70周年を記念し、その年の9月に高田西公園の上の段にアジサイの植樹を行いました。植樹には高田アジサイ愛好会(会長 斉藤 登)を発足させ、高田中学校生徒、学童保育所の方、日頃公園を利用されている方、町内会理事などが参加しました。来年はそれから5年となりますので、高田西公園愛護会(会長 篠原 力)が中心となりアジサイ祭り開催を検討しています。



高田西公園の下の段

平成30年には高田西公園の下の段に高田小学校4年生がアジサイの植樹を行いました。

水害への備え

高田町連合町内会発行

港北区役所及び京浜河川事務所共催の鶴見川に関する講習を8町会20名で3日間受けました。講習内容は鶴見川支流の早淵川をメインに行いました。受講内容を冊子にまとめ、台風シーズン前に浸水想定区域の町内会会員を対象に配布しました。この冊子は表紙にある行政発行の4つの資料を再編したものです。特に印象に残った講習内容は、ピンポイントで設定した幼稚園を時間経過毎に浸水状況を目に見える形で説明した部分です。編集の苦労と言えば、Q&A コーナーの回答部分の作成です。行政担当者と相談し、完成まで何度も修正した事を思い出します。会員の皆様、有効にご活用下さい。冊子にまだ余裕があります。ご希望の方がいましたら理事までご連絡下さい。

水害への備え



高田町連合町内会 2021年3月

高田って どんどころ? -28-

早淵川の本メダカとシジミ

早淵川に沢山の鯉が泳いでいるのは皆さんご存知だと思いますが、メダカやシジミもいるんですよ。早淵川の本流である鶴見川の本メダカについて調べると生息数が減少しているそうです。変わってボウフラ退治のため海外から移入されたカダヤシ(蚊絶やし)が増えているそうです。川の水溜りに小魚が泳いでいるので確認のため捕獲してみました。



左2匹がメスで右がオス

一度の網で十数匹捕らえることが出来ました。色・形はメダカの特徴と合っています。その中にお腹から卵が出ているのがいました。カダヤシは体内で卵をふ化させてから産むのでメダカに間違いなさそうです。

また、土手の法面(のりめん)の草取りをした時、長靴の泥を洗い落とすため水辺まで行くと生きたシジミが転がっていました。雨水が流れ出る樋門の近くなので、雨水で流されて来たのでしょうか。

(川には深い所があります。注意して下さい。)



卵が出ているメダカ



樋門近くに転がっていたシジミ

編集後記 コロナウイルスで今年も盆踊りと運動会が中止です。友人知人、離れて暮らしている家族とも会えない毎日でストレスが溜まります。そんな時、少しは役に立っている LINE などの SNS。躊躇していたガラケーからスマホへの乗り換えに決断がつかしました。早速、家族 LINE にメダカの写真を送りました。(A.S)